

2022.12.27掲載@物流ニッポン新聞社
〈冬の事故ZERO運動〉

事故ゼロ運動
550人で一丸

琉球通運

【沖縄】琉球通運（喜納秀智社長、那覇市）は年末年始の交通安全運動として5日から1月7日まで「冬の事故ZERO運動」を実施している。

「品質の高いサービスをお客様に提供するために

朝礼で作業手順を確認



は、安全を確保することが最優先」をスローガンに掲げ、全社員550人一丸で運動に取り組んでいる。

ドライバー、フォークリフト、荷役作業の各部門で繁忙期の危険予知などをまとめた安全基本方針を定めた。朝礼や点呼では健康状態や作業手順の確認を徹底する。

また、グリーンのオリジナル交通安全バッジを事務職を含む全社員が身に着

け、安全意識を高める。管理者による車両巡回パトロールで安全運転やセンター作業、荷役業務を確認するほか、期間中の無災害記録表も掲示する。

また、巡回パトロールで監視の目を広げることで、犯罪やゴミのポイ捨て抑止など、地域社会の防犯とマナーアップに貢献していく。

琉球通運では「安全を通じて顧客満足度を高める一方、安心して住み続けられる街づくりにも寄与し、総合物流企業としての役割を果たす」（総務部）としている。（上田慎二）